

水質の判定と結果のまとめ方

1. 調査結果については表-1、表-2で記録した結果を、表-3に集計します(表-3の記入例を参考にしてください)。

① その地点で見つかった生物の種類は、それぞれの欄に○印をつけて記録します。

② 見つかった指標生物のうち、数が多かった上位から2種類には●印をつけます。

もしも、3種類の指標生物がほとんど同じくらいの数だった場合には、3種類まで●印をつけます(表-3)。

2. 調査場所ごとに、次の手順で作業を進めて水質を判定します。

① ○印と●印の数の合計を、各水質ごとに「水質の判定」1の欄に書き込みます。

② ●印だけの数の合計を、各水質ごとに2の欄に書き込みます。

③ 3の欄に1欄と2欄の合計を書き込みます。

④ 3の欄の合計数字が最も大きいものを、その場所の水質と判定し、一番下の欄にI、II、III、IVの数字で書き込みます。

3. 表-3の地点I-①(3)のように、2つの水質の程度が同じ数字になった場合には、数字の少ない方の水質(例えば、「きたない水」と「大変きたない水」が同点の時は、その場所の水質は「きたない水」と判定します。

4. 調査結果を一覧できる図にまとめます。また、他の場所の調査結果と比べたり、同じ場所で調査した年ごとの変化を比べたりすると、身近な川の状況がわかり、汚れの原因などを考えるのに役立ちます。